

中期目標の達成状況報告書 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	1頁・40行	約900人が学んでおり，国際交流も日常的である。	約900人の <u>留学生</u> が学んでおり，国際交流も日常的である。
2	4頁・10行	<u>臨床検査技術士</u>	<u>臨床検査技師</u>
3	8頁・9行	<u>単位取得</u> 状況	<u>単位修得</u> 状況
4	8頁・資料7 (2か所)	<u>単位平均取得</u> 状況 <u>平均取得</u> 単位	<u>単位平均修得</u> 状況 <u>平均修得</u> 単位
5	10頁・9行	<u>科学研究者</u> 129名	<u>科学技術者</u> 129名
6	10頁・24行	<u>単位取得</u> 状況	<u>単位修得</u> 状況
7	13頁・10行	<u>博士学</u> 取得者を	<u>博士学位</u> 取得者を
8	13頁・24行	<u>単位取得</u> 状況	<u>単位修得</u> 状況
9	16頁・22行	一元化を <u>進</u> するため	一元化を <u>推</u> 進するため
10	17頁・24行	(資料16-18頁)。なお， <u>前述の大学院留学生招致プログラムによる留学生受入れは，これら</u> 施策の実施は，	(資料16-18頁)。 <u>以上の</u> 施策の実施は，

	頁数・行数等	誤	正																														
11	21頁・6行	①外国人留学生特別選抜は、修士課程で8研究科等、博士（後期）課程で <u>6</u> 研究科等が実施しており、平成16年度以降の受入者数は、資料20のとおりである。修士課程で平成19年に急増し <u>218</u> 名となり、博士課程では <u>316</u> 名から <u>340</u> 名で推移している。	①外国人留学生特別選抜は、修士課程で8研究科等、博士（後期）課程で <u>7</u> 研究科等が実施しており、平成16年度以降の受入者数は、資料20のとおりである。修士課程で平成19年に急増し <u>125</u> 名となり、博士課程では <u>84</u> 名から <u>100</u> 名で推移している。																														
12	21頁・10行	②社会人特別選抜に関しては、医学を除く研究科等で実施しており、 <u>修士課程、博士（後期）課程とも9研究科等で専門科目試験を免除し、社会での研究成果等により選抜している。</u>	②社会人特別選抜に関しては、医学を除く研究科等で実施しており、 <u>修士課程で6研究科等、博士（後期）課程で11研究科等において専門科目試験を免除し、社会での研究成果等により選抜している。</u>																														
13	21頁・資料20	<p>（資料 20） 外国人留学生受入数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>修士課程</th> <th>博士課程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成16年度</td> <td><u>183</u></td> <td><u>340</u></td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td><u>177</u></td> <td><u>337</u></td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td><u>177</u></td> <td><u>316</u></td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td><u>218</u></td> <td><u>322</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：<u>北海道大学大学情報データベース</u></p>	年 度	修士課程	博士課程	平成16年度	<u>183</u>	<u>340</u>	平成17年度	<u>177</u>	<u>337</u>	平成18年度	<u>177</u>	<u>316</u>	平成19年度	<u>218</u>	<u>322</u>	<p>（資料 20） 外国人留学生受入数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>修士課程</th> <th>博士課程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成16年度</td> <td><u>89</u></td> <td><u>99</u></td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td><u>83</u></td> <td><u>92</u></td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td><u>92</u></td> <td><u>84</u></td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td><u>125</u></td> <td><u>100</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：<u>留学生交流室資料</u></p>	年 度	修士課程	博士課程	平成16年度	<u>89</u>	<u>99</u>	平成17年度	<u>83</u>	<u>92</u>	平成18年度	<u>92</u>	<u>84</u>	平成19年度	<u>125</u>	<u>100</u>
年 度	修士課程	博士課程																															
平成16年度	<u>183</u>	<u>340</u>																															
平成17年度	<u>177</u>	<u>337</u>																															
平成18年度	<u>177</u>	<u>316</u>																															
平成19年度	<u>218</u>	<u>322</u>																															
年 度	修士課程	博士課程																															
平成16年度	<u>89</u>	<u>99</u>																															
平成17年度	<u>83</u>	<u>92</u>																															
平成18年度	<u>92</u>	<u>84</u>																															
平成19年度	<u>125</u>	<u>100</u>																															
14	23頁・36行	文化に関する科目等	文化に関する科目等																														
15	33頁・7行	環境科学院が、 <u> </u> とインターン制度を	環境科学院が、 <u>講義と実習によって広い視野を養い、インターン制度を</u>																														
16	41頁・35行	「国立大学法人北海道大学教員配置規程」の <u>定める</u>	「国立大学法人北海道大学教員配置規程」に <u>定める</u>																														
17	51頁・26行	方法、理論 <u>についての</u> 実技	方法、理論、 <u>実技</u>																														
18	57頁・2行	教員配置を <u>可能</u> となる	教員配置が <u>可能</u> となる																														

	頁数・行数等	誤	正
19	59頁・21行	拡大入学料・授業料	拡大、 <u>入</u> 学料・授業料
20	63頁・資料78 表内	①大変良かつ ②良かった ③普 ④ やや不 ⑤不 ⑥無回	①大変良かった ②良かった ③普通 ④やや不満 ⑤不満 ⑥無回答
21	68頁・33行	「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝シ ステムの研究」	「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝 システム」
22	68頁・34行	「触媒が先導する物質化学イノベーション」	「触媒が先導する物質科学イノベーション」
23	69頁・13行	イノベーション創出拠点プログラム	イノベーション創出拠点の <u>形成</u> プログラム
24	70頁・29行	明らかにしたまた、	明らかにした。 <u>ま</u> た、
25	70頁・38行	類例のない <u>の</u> 成果	類例のない成果
26	81頁・資料97	調査方向	調査方法
27	84頁・19行	この「全学運用教員制度」は、	この「全学運用定員制度」は、
28	85頁・21行	「国立大学北海道大学における教員選 考についての指針」	「国立大学法人北海道大学における教 員選考についての指針」
29	87頁・2行	広域文 <u>科</u> 系	広域文 <u>化</u> 系
30	87頁・17行	産学官イムノリゾート	産学官連 <u>携</u> イムノリゾート

	頁数・行数等	誤	正
31	100頁・資料 125	委員会,	委員会は,
32	104頁・42行	一時停止伴う人件費	一時停止 <u>すること</u> に伴う人件費
33	105頁・1行	触媒化学センター	触媒化学 <u>研究</u> センター
34	110頁・32行	知財・産学連携本部し	知財・産学連携本部 <u>とし</u>
35	115頁・15行	公設試	公設 <u>試験場</u>
36	117頁・33行	行 <u>い</u> った	行 <u>っ</u> た
37	120頁・13行	中国大学教員	中国 <u>の</u> 大学教員
38	121頁・資料 156	<u>日 時</u>	<u>年 度</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 1-6 13 行	(資料 5 1-5 頁および別添資料 2)	(資料 6 および別添資料 2)

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 2-7 37 行	期待に <u>応</u> 効果を	期待に <u>応え</u> 効果を
2	教育 2-12 28 行	殆ど <u>な</u> かったが、	殆ど <u>な</u> かったが、

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 3-5 頁 18 行	中学校一種免許	中学校 <u>教諭</u> 一種免許

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 5-5 14 行	<u>期待するよう体系的</u>	<u>期待するような体系的</u>
2	教育 5-6 21 行	<u>エクスターンシップ</u>	<u>エクスターンシップ</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 7-4 25 行	<u>月 1</u> 回収	<u>月 1 回</u> 回収
2	教育 7-7 24 行	<u>Ⅲ</u> 教育方法	<u>分析項目Ⅲ</u> 教育方法
3	教育 7-8 25 行	<u>さらに確保するため</u>	<u>さらにこのような機会を確保するため</u>
4	教育 7-11 4 行	<u>修了生</u>	<u>修了者</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 21-9 資料 9	平成 1 9 年度 T A の採用者数の小計欄 3 3 0	平成 1 9 年度 T A の採用者数の小計欄 3 3 2

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 28-2 12 行	<u>公共経営</u> を備えた	<u>公共経営能力</u> を備えた
2	教育 28-12 6 行	教育課程の <u>改定</u>	教育課程の <u>改訂</u>
3	教育 28-16 7 行	(資料 11 (<u>9</u> 頁))	(資料 11 (<u>10</u> 頁))

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 1-4 6 行	「社会科学実験センター」	「社会科学実験 <u>研究</u> センター」
2	研究 1-9 14 行	学内共同研究施設	学内共同 <u>教育</u> 研究施設

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 3-2 13 行	<u>現代法学</u>	<u>現代法</u>
2	研究 3-2 13 行	<u>基礎法学</u>	<u>基礎法</u>
3	研究 3-4 24 行	<u>専門員</u>	<u>事務職員</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 6-5 下から 10 行目	平成19年度に先端医学講座として「光生物学分野」と「レーザー情報分析学分野」の <u>3</u> つの分野	平成18～19年度に「光生物学分野」と「レーザー情報分析学分野」の <u>2</u> つの分野
2	研究 6-5 下から 7 行目	(資料12、 <u>12</u> 頁)	(資料16、 <u>13</u> 頁)
3	研究 6-13 上から 3 行目	平成 <u>1 8</u> 年度に先端医学講座として連携研究センター「フラテ」内に「光生物学分野」と「レーザー情報分析学分野」の <u>2</u> つの分野	平成18～19年度に連携研究センター「フラテ」内に「光生物学分野」と「レーザー情報分析学分野」の <u>2</u> つの分野
4	研究 6-13 上から 6 行目	平成 17 年度 <u>3</u> 講座	平成 17 年度 <u>2</u> 講座

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 15-7 16 行	<u>国連</u> を	<u>国連の賞</u> を
2	研究 15-7 19 行	評価 <u>された</u> 。	評価 <u>した</u> 。
3	研究 15-8 2 行	<u>勤</u> めた。	<u>務</u> めた。
4	研究 15-8 3 行	<u>勤</u> めた。	<u>務</u> めた。
5	研究 15-8 6 行	<u>勤</u> めた。	<u>務</u> めた。
6	研究 15-9 19 行	環境が <u>整</u> えた。	環境を <u>整</u> えた。

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 17-8 頁 18 行	新聞研究所	新聞 <u>与</u> 伝播研究所

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 19-2 5 行	<u>めざすとともに</u>	<u>めざすとともに</u>
2	研究 19-10 6 行	<u>ニコンイメージングセンター</u>	<u>ニコンバイオイメージングセンター</u>
3	研究 19-10 7 行	<u>ニコンイメージングセンター</u>	<u>ニコンバイオイメージングセンター</u>
4	研究 19-11 資料 18 利用状況表	<u>ニコンイメージングセンター</u>	<u>ニコンバイオイメージングセンター</u>
5	研究 19-11 資料 18 利用内訳表	<u>ニコンイメージングセンター</u> 工学研究院 獣医学研究院 生命科学研究院	<u>ニコンバイオイメージングセンター</u> 工学研究科 獣医学研究科 先端生命科学研究院
6	研究 19-12 10 行	<u>ニコンイメージングセンター</u>	<u>ニコンバイオイメージングセンター</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 20-2 6 行	疾患制御部門	疾患制御 <u>研究</u> 部門

北海道大学触媒化学研究センター

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 21-4 資料 2・3 行	<u>第 2 回</u>	<u>平成 16 年度</u>
2	研究 21-4 資料 2・7 行	<u>第 1 回</u>	<u>平成 17 年度</u>